

准教授 片山 将一 / 分子生命科学研究室

主な研究内容と目指す将来像

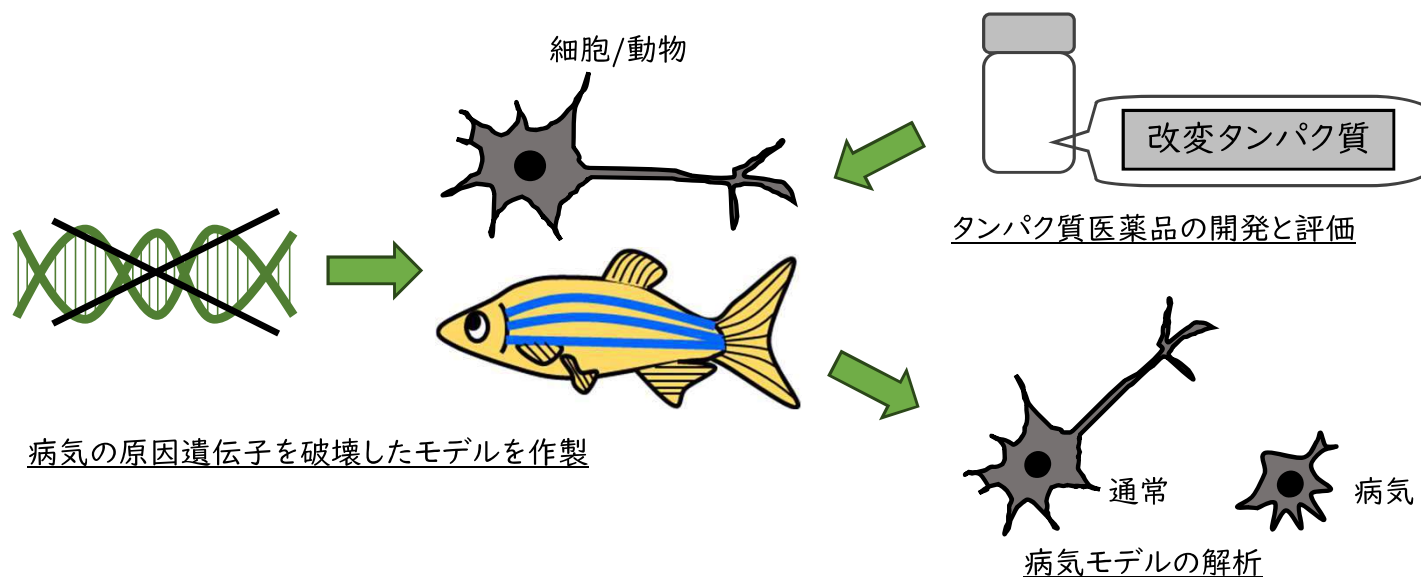
生物を構成する細胞の中ではたくさんのタンパク質がその役割をはたしています。タンパク質の設計図である遺伝子の異常は病気の発症原因となります。当研究室ではそれらの病気について発症メカニズムを突き止めるとともに、治療薬として役に立つタンパク質医薬品の開発を目指しています。

研究キーワード

遺伝子工学 / 遺伝子疾患 / 細胞内情報伝達 / タンパク質リン酸化酵素 / モデル生物・細胞

研究の魅力・面白さ

- ✓ 「今までに誰も知らなかったことを自分の手で明らかにする。」そんな体験ができます。
- ✓ 病気の発症メカニズムを明らかにしたり、タンパク質医薬品の開発に成功すれば、今までに治療法が存在しない病気の患者さんを救う大きなきっかけになります。



履修しておきたい推奨科目

生化学(2年後期)、分子生物学(3年前期)、遺伝子工学(3年前期)

研究室配属希望者へのメッセージ

生命はどのように生きているのか?、はたまた病気になるのか?、とても大きな課題を分子レベルで解き明かしていきます。是非一緒に未知の事象を紐解いていきましょう!

連絡先

s-katayama@maebashi-it.ac.jp